

質ト改ル
久ファ
耐ス
高ア

プレミックスで製造

東亜道路工業
品質高めコスト減

東亜道路工業は同社が販売する高耐久改質アスファルト「HSバインダー」の製造方法を改良した。従来は混合物製造時にプラントで添加剤を投入するプラントミックス方式で製造していたのに対し、あらかじめ専用工場でアスファルトに

添加剤を溶かし込むプレミックス方式に変更。これにより樹脂の偏りがなくなつて品質が向上すると同時に、製造時の負担が軽減してコストの削減にもつながるといふ。

HSバインダーは半たわみ性アスファルトと同等の

耐流動性を持ち、従来のアスファルト混合物にない耐油性を備えた高耐久なアスファルト混合物。重交通路線の交差点手前や、大型車駐立場、物流施設などで主に適用されている。

従来のプラントミックス方式では、作業員が投入口付近で大量の添加剤を手作業で投入するため、落下したり、高温の混合物に触れ

てやけどしたりする危険性があった。またプラントでの混合では作業員の拘束時間が長く、人件費がかかる一因となっていた。

プレミックス方式にすることで作業時の危険がなく

なり、添加剤の投入も1度で済むため作業員の負担が軽くなり、製造コストが削減できる。少量生産に関しては従来通りのプラントミックス方式も併せて販売を継続する。



HSバインダーの施工事例